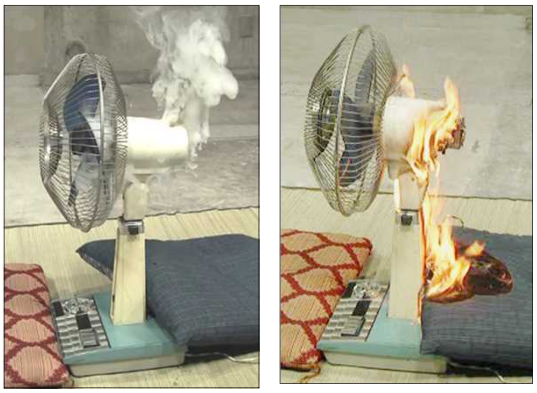
古い扇風機の火災事故

事故の概要

【事例①】
　扇風機（使用期間約29年）から出火する火災が発生し、扇風機とその周辺を焼損し、1人がやけどを負った。
【事例②】
　扇風機（使用期間約30年）をつけたまま庭で作業していたところ、扇風機から出火して住宅を全焼し、1人が重度のやけどを負った。

事故の原因

【事例①】
　経年劣化によってコンデンサーが絶縁劣化したため、ショートして発火し、火災に至ったものです。
【事例②】
　経年劣化によってモーター巻線部が絶縁劣化したため、スパークが生じて周囲のホコリ等に着火し、火災に至ったものです。



【NITEの再現実験】コンデンサーから発火して、周囲の可燃物に着火する様子

事故防止のために

製造から長期間経過した扇風機は、経年劣化によって火災等の事故につながるおそれがあります。

- □ スイッチを入れても羽根が回転しない
- □ 羽根の回転が遅かったり、不規則である
- □ 回転するときに異常な音や振動がする
- □ モーター部分が異常に熱かったり、焦げくさいにおいがする
- □ 電源コードが折れ曲がったり、破損していたりする
- □ 電源コードに触れると、羽根が回ったり回らなかったりする

使用時に上記のような不具合がある場合は、使用を中止して電源プラグを抜き、購入店またはメーカー窓口に相談してください。

nite・製品安全センター